

県内企業景況調査結果

(2025年10～12月期実績、2026年1～3月期見通し)

— 県内景況は、拡大している —

(前回)県内景況は、拡大している

- 業況判断D.I.は「好転」超幅がほぼ横這いとなったものの、**15期連続のプラス**
来期も「好転」超幅がほぼ横這いとなる見通し (4ページ)
- 景況天気は14期連続の「晴れ」。来期も引き続き「晴れ」となる見通し (7ページ)

■主要D.I. (カッコ内は前回調査からの変動幅、単位:%ポイント)

(参考)

	業況判断D.I.	景況天気	売上D.I.	採算水準D.I.	資金繰りD.I.	雇用判断D.I.
当期 実績	11.2 (+1.7)	晴れ 18.2(+1.8)	11.5 (+0.4)	35.5 (▲0.4)	7.6 (+5.3)	57.2 (+3.9)
来期 見通し	10.9	晴れ 18.1	16.4	33.6	4.3	55.9

[調査内容についてのお問い合わせ先]

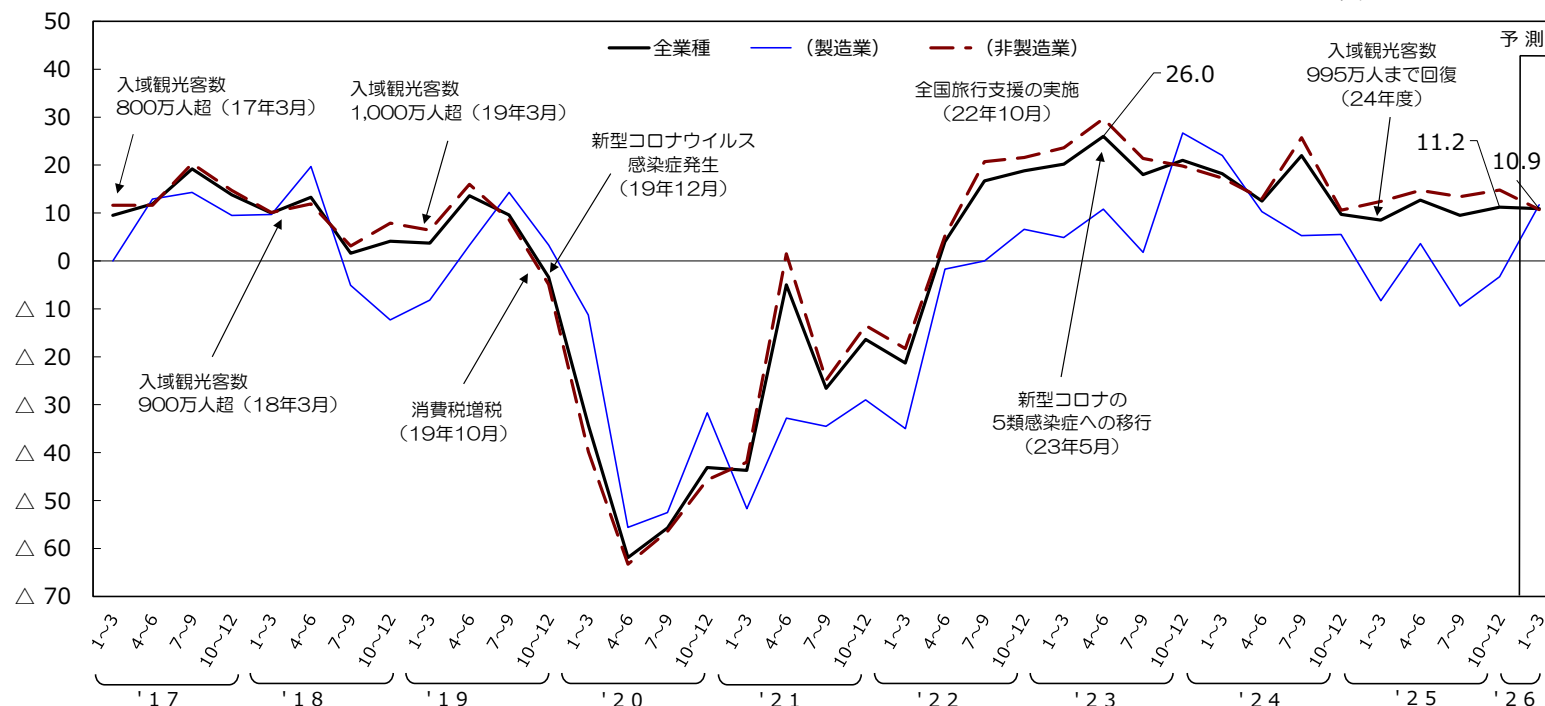
調査部 金融経済調査課(担当:比嘉) 沖縄県那覇市おもろまち1-2-26 電話:098-941-1725

調査結果の概要 (I)業況判断D.I.

- 実績(10~12月期):「好転」超幅がほぼ横這いとなり、**15期連続のプラス**〔前期9.5%ポイント(以下、単位省略)⇒当期11.2〕
→ 人手不足、原材料高、人件費増の影響がみられるも、引き続き観光需要、個人消費が堅調に推移していることから、県内景況は拡大している
- 見通し(1~3月期):来期も「好転」超幅がほぼ横這いとなる見通し〔来期10.9〕
→ 引き続き人手不足、原材料高、人件費増の影響はあるも、県内景況は総じて拡大基調が続くとみられる


図表I 業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント)






(2)景況天気図 (売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値)

実績：14期連続の「 晴れ」 [前期16.4⇒ 当期18.2]


小売業、飲食店・宿泊業で引き続き「 (快晴)」



卸売業、運輸業、サービス業で引き続き「 (晴れ)」

製造業で「 (薄曇り)」→「 (晴れ)」


建設業、情報通信業で引き続き「 (薄曇り)」

見通し：引き続き「 晴れ」となる見通し [来期18.1]

製造業、卸売業、運輸業、サービス業で引き続き「 (晴れ)」














情報通信業で「 (薄曇り)」→「 (晴れ)」

小売業、飲食店・宿泊業で「 (快晴)」→「 (晴れ)」

建設業で引き続き「 (薄曇り)」

図表2 全産業における景況天気図の推移

(単位：%ポイント)

区分 全産業	2024年		2025年				2026年
	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 前回実績	10～12月期	
						前回見通し	今回実績 今回見通し
景況天気図	 20.2	 14.2	 12.2	 17.0	 16.4	 (17.9)	 18.2  18.1
 快晴 — 30以上～100以下  曇り — △30以上～△5未満  晴 — 10以上～30未満  雨 — △100以上～△30未満  薄曇り — △5以上～10未満							

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

業種	項目	調査対象 企業数 (A)	回答数 (B)	回答率 (%) (B)/(A) ×100
全産業(※1)		365	304	83.3
	製造業	68	60	88.2
	建設業	68	59	86.8
	卸売業	47	36	76.6
	小売業	47	41	87.2
	運輸業	32	28	87.5
	情報通信業(※2)	23	18	78.3
	サービス業	44	36	81.8
	飲食店・宿泊業	33	24	72.7

※1 全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

※2 情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し自計記入またはWEB調査システムからの回答を求める方法。

5. 調査対象期間

当期：2025年10～12月期実績

来期：2026年1～3月期見通し

6. 調査実施期間

2025年11月中旬～2025年12月上旬

(発送：2025年11月12日、回収基準日：2025年12月1日)

7. 用語説明等

- 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- D.I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD.I.を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

Ⅱ. 調査結果 Ⅰ. 業況判断

— 当期は「好転」超幅がほぼ横這いとなり、15期連続のプラス
来期も「好転」超幅がほぼ横這いの見通し —

- 自社の業況を総合的に判断する当期の業況判断D.I.（全産業）は11.2と、**15期連続のプラス**となった。
- 一部事業者において人手不足や人件費等の経費負担増により「悪化」回答がみられたものの、サービス業、飲食店・宿泊業では観光需要による「好転」回答、製造業、卸売業では食料品を中心に個人消費が堅調に推移したことによる「好転」回答がみられ、全業種で「好転」超幅がほぼ横這いとなった。
- 来期の業況判断D.I.は10.9と、「好転」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表3 業況判断D.I.（前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合）（単位：%ポイント）

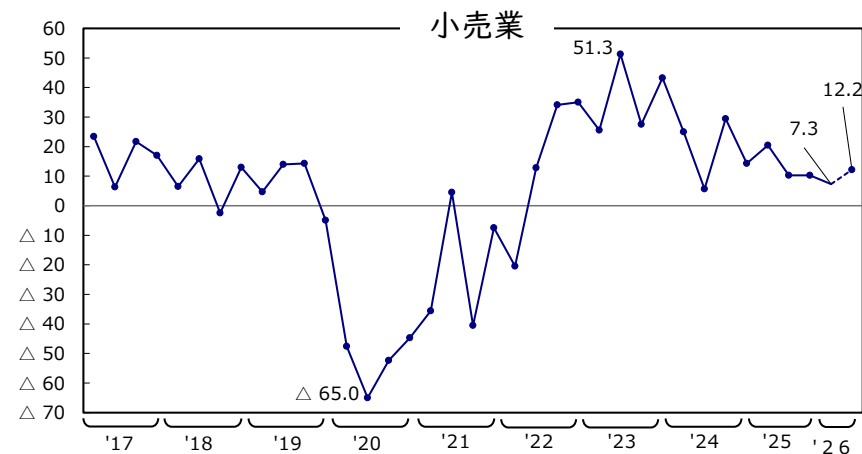
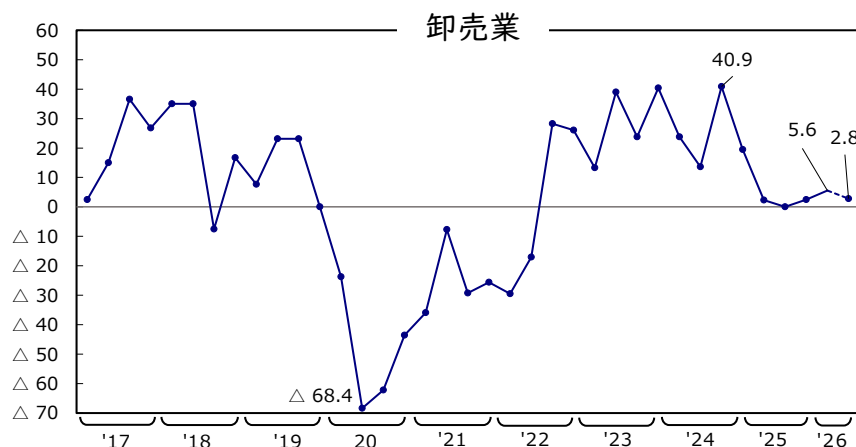
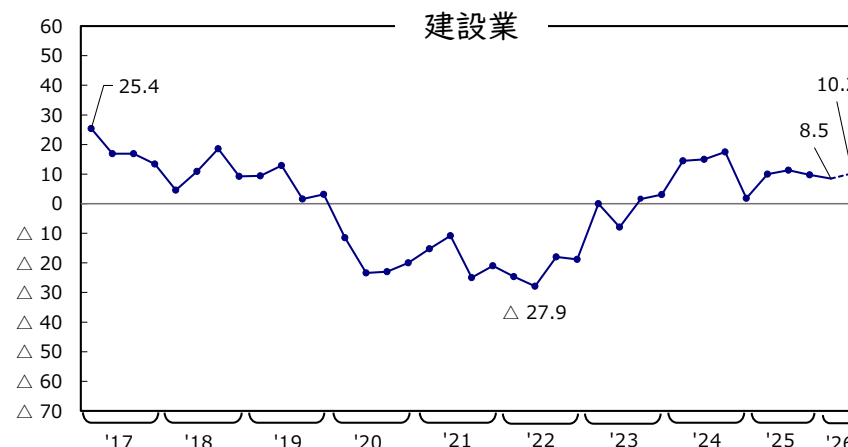
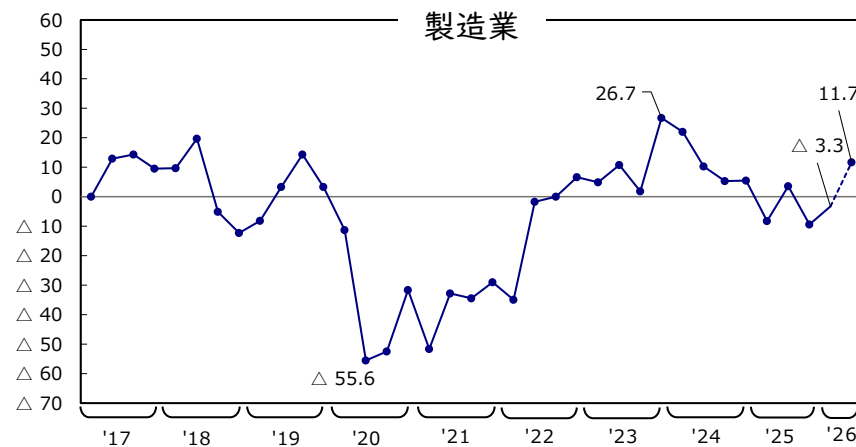
区分 業種	2024年		2025年				2026年
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全産業 D.I. (①－②)	22.0	9.7	8.5	12.7	9.5	(11.8)	11.2
① 好転(%)	33.4	27.0	26.0	27.7	24.8	(22.5)	26.6
不変(%)	55.1	55.7	56.4	57.3	59.8	(66.7)	57.9
② 悪化(%)	11.5	17.3	17.6	15.0	15.4	(10.8)	15.5
製造業	5.3	5.5	△ 8.3	3.6	△ 9.4	(3.8)	△ 3.3
建設業	17.5	1.8	10.0	11.3	9.7	(6.5)	8.5
卸売業	40.9	19.5	2.3	0.0	2.5	(2.5)	5.6
小売業	29.4	14.3	20.5	10.3	10.3	(17.9)	7.3
運輸業	22.6	23.3	17.2	25.8	34.5	(34.5)	28.6
情報通信業(※)	0.0	6.3	11.1	5.3	0.0	(5.0)	0.0
サービス業	15.0	△ 7.5	△ 4.9	18.4	10.8	(8.1)	13.9
飲食店・宿泊業	53.6	29.2	40.7	38.5	34.8	(30.4)	50.0

※情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

- ・ 製造業では、一部事業者で価格競争の激化がみられるも、食料品で観光客や量販店向け売上が好調であることや、飲料・たばこ・飼料で大幅な経費削減をしたことにより採算性を向上させた等の理由により「悪化」超幅が縮小した。
- ・ 建設業では、公共工事を安定的に受注できている等の理由から「好転」回答がみられた一方、求人難や人手不足により受注機会を逃しているとの声も聞かれた。
- ・ 卸売業、小売業では、飲食料品卸や百貨店・スーパーで贈答品やイベント行事向けの個人消費が堅調に推移したことで売上増となり、「好転」超を維持した。

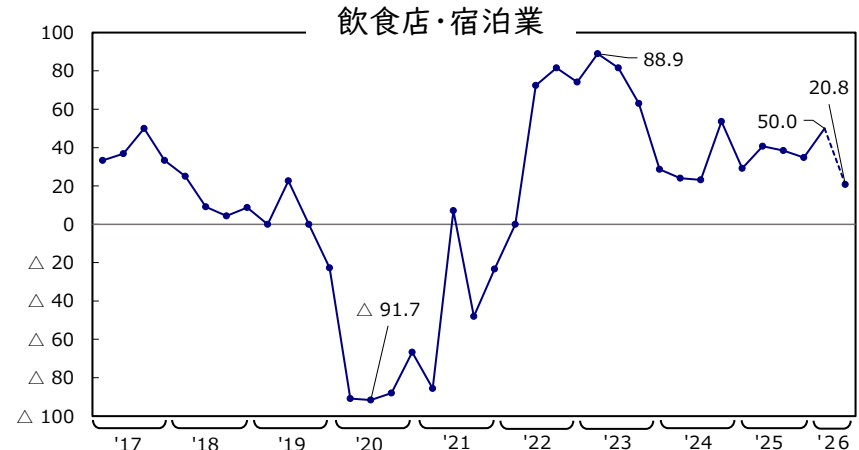
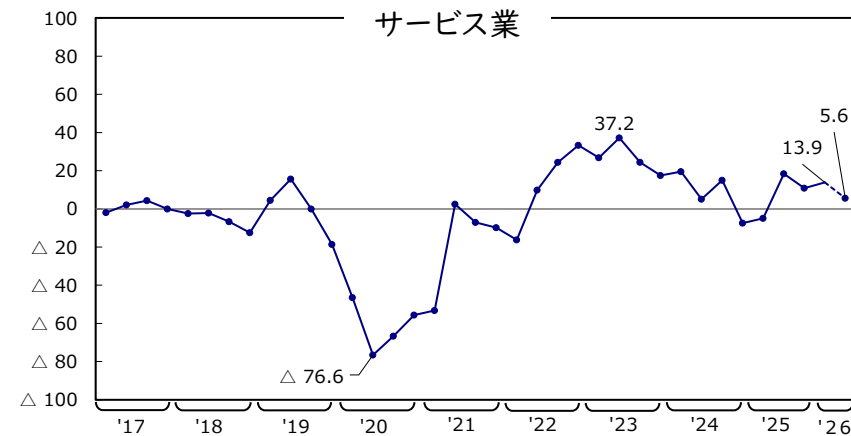
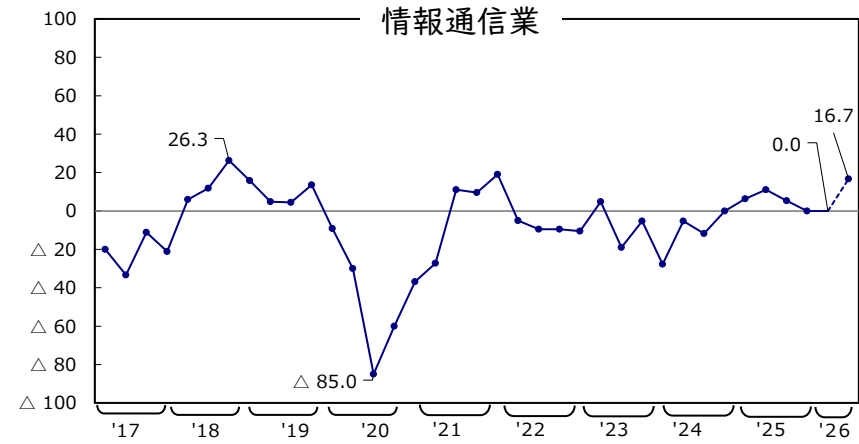
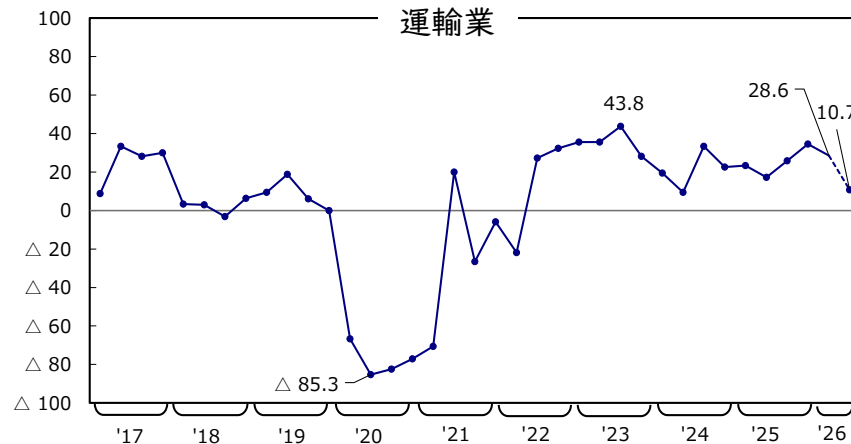
図表4-1 業種別の業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント、点線は見通し)



- ・ 運輸業では、道路旅客運送で観光需要に伴う観光貸し切りバス需要の増加、道路貨物運送で一般貨物運送需要の増加により業況「好転」の声が聞かれた一方、運転手不足による売上不振の声も聞かれ「好転」超幅が縮小した。
- ・ サービス業では、自動車整備業で価格改定により売上増となったほか、洗濯業で観光需要による売上増により「好転」超幅がやや拡大した。
- ・ 情報通信業では、情報サービス業で営業体制を見直したことで採算性向上や売上確保に繋がったことから「好転」回答がみられた。
- ・ 飲食店・宿泊業では、人手不足や求人難との声が聞かれた一方、10月は入域観光客数が単月過去最多を記録する等観光需要が増加し、個人・団体客の受入が好調だったことで「好転」超幅が大幅に拡大した。

図表4-2 業種別の業況判断D.I.の推移 (単位:%ポイント、点線は見通し)



2. 景況天気

— 当期は14期連続の「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

- 当期の県内企業の動向を全産業ベースでみると、資金繰りD.I. (2.3→7.6) で「楽」超幅が拡大、売上D.I. (11.1→11.5) で「増加」超幅がほぼ横這い、採算水準D.I. (35.9→35.5) で「黒字」超幅がほぼ横這いとなったことから、景況天気 (16.4→18.2) は14期連続の「晴れ」となった。
- 来期の見通しは、資金繰りD.I. (4.3) で「楽」超幅がやや縮小するものの、売上D.I. (16.4) で「増加」超幅がやや拡大、採算水準D.I. (33.6) で「黒字」超幅がほぼ横這いとなることから、景況天気 (18.1) は引き続き「晴れ」の見通し。

図表5-1 景況天気図 (売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2024年				2025年				2026年
		7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期		
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し	
全産業		20.2	14.2	12.2	17.0	16.4	(17.9)	18.2	18.1	
製造業		18.1	12.1	8.3	9.5	Δ2.5	(10.1)	10.6	17.2	
建設業		8.2	3.0	6.7	12.9	9.7	(4.8)	5.6	9.0	
卸売業		35.6	26.8	21.7	18.3	17.5	(19.2)	19.4	24.1	
小売業		32.4	21.9	23.9	25.6	30.8	(35.0)	31.7	23.6	
運輸業		22.6	21.1	20.7	32.3	25.3	(29.9)	26.2	27.4	
情報通信業		Δ5.0	Δ4.2	Δ5.6	Δ8.8	Δ1.7	(1.7)	Δ1.9	14.8	
サービス業		11.7	10.0	6.5	16.7	25.2	(16.2)	18.5	13.0	
飲食店・宿泊業		39.3	23.6	12.3	28.2	43.5	(40.6)	47.2	22.2	

	快晴	—	30以上~ 100以下
	晴	—	10以上~ 30未満
	薄曇り	—	Δ 5以上~ 10未満
	曇り	—	Δ 30以上~ Δ 5未満
	雨	—	Δ100以上~ Δ30未満

図表5-2 全産業における主要3指標の推移

区分	2025年			2026年
	7~9月期	10~12月期	1~3月期	
全産業	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
売上D.I.	11.1	(16.0)	11.5	16.4
採算水準D.I.	35.9	(37.9)	35.5	33.6
資金繰りD.I.	2.3	(Δ0.3)	7.6	4.3

2-1. 売上

— 当期は「増加」超幅がほぼ横這い、来期は「増加」超幅がやや拡大の見通し —

- 当期の売上D.I.は、全産業で11.5と「増加」超幅がほぼ横這いとなった。
- 一部卸売業で省エネ家電買換キャンペーンの反動減や物価高による量販店向け取引数量減の声が聞かれたものの、製造業、サービス業、飲食店・宿泊業で価格改定や観光需要により売上増となり「増加」超幅がほぼ横這いとなった。
- 来期は、全産業で16.4と「増加」超幅がやや拡大する見通しとなっている。

図表6 売上D.I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2024年		2025年				2026年	
		7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I (①—②)	23.9	13.0	7.5	11.8	11.1	(16.0)	11.5	16.4
	① 増加(%)	44.9	37.3	37.3	38.9	36.9	(32.7)	36.8	32.2
	不変(%)	34.1	38.3	32.9	34.1	37.3	(50.7)	37.8	52.0
	② 減少(%)	21.0	24.3	29.8	27.1	25.8	(16.7)	25.3	15.8
	製造業	7.0	7.3	△ 8.3	△ 3.6	△ 9.4	(9.4)	5.0	15.0
	建設業	5.3	△ 8.9	△ 5.0	3.2	0.0	(△9.7)	△ 6.8	0.0
	卸売業	50.0	31.7	18.6	△ 12.5	△ 10.0	(7.5)	△ 13.9	8.3
	小売業	41.2	11.4	28.2	30.8	28.2	(35.9)	26.8	24.4
	運輸業	35.5	30.0	10.3	35.5	37.9	(37.9)	17.9	28.6
	情報通信業	△ 5.0	△ 6.3	△ 27.8	0.0	20.0	(20.0)	11.1	27.8
	サービス業	17.5	15.0	7.3	13.2	18.9	(13.5)	22.2	11.1
	飲食店・宿泊業	57.1	33.3	40.7	50.0	43.5	(52.2)	58.3	41.7

2-2. 採算水準

— 当期は「黒字」超幅がほぼ横這い、来期も「黒字」超幅がほぼ横這いの見通し —

- 当期の採算水準D.I.は全産業で35.5と「黒字」超幅がほぼ横這いとなった。
- 来期も、全産業で33.6と「黒字」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表7 採算水準D.I. (当該期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種	2024年		2025年				2026年	
	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 前回実績	10~12月期 前回見通し	10~12月期 今回実績	1~3月期 今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	29.3	28.7	32.0	33.1	35.9	(37.9)	35.5	33.6
① 黒字(%)	46.2	44.7	48.3	47.5	50.0	(46.7)	48.0	44.1
トト(%)	36.9	39.3	35.4	38.2	35.9	(44.4)	39.5	45.4
② 赤字(%)	16.9	16.0	16.3	14.3	14.1	(8.8)	12.5	10.5
製 造 業	38.6	27.3	33.3	35.7	20.8	(37.7)	26.7	30.0
建 設 業	14.0	16.1	26.7	24.2	25.8	(25.8)	22.0	23.7
卸 売 業	56.8	58.5	51.2	60.0	62.5	(52.5)	63.9	61.1
小 売 業	41.2	42.9	46.2	38.5	56.4	(56.4)	51.2	41.5
運 輸 業	25.8	26.7	44.8	41.9	31.0	(51.7)	42.9	42.9
情報通信業	△ 25.0	△ 18.8	0.0	△ 15.8	△ 20.0	(△ 5.0)	△ 11.1	16.7
サービス業	22.5	25.0	29.3	34.2	45.9	(29.7)	30.6	30.6
飲食店・宿泊業	35.7	33.3	3.7	23.1	56.5	(47.8)	54.2	16.7

2-3. 資金繰り

— 当期は「楽」超幅が拡大、来期は「楽」超幅がやや縮小する見通し—

- 当期の資金繰りD.I.は、全産業で7.6と、「楽」超幅が拡大した。
- 来期は、全産業で4.3と「楽」超幅がやや縮小する見通しとなっている。

図表8 資金繰りD.I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種 区分	2024年		2025年				2026年
	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し 今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	7.3	1.0	△ 2.8	6.1	2.3	(△0.3) 7.6	4.3
① 楽 (%)	15.3	11.3	10.0	14.3	10.5	(6.9) 14.8	11.5
不変 (%)	76.8	78.3	77.1	77.4	81.4	(85.9) 78.0	81.3
② 苦しい(%)	8.0	10.3	12.9	8.3	8.2	(7.2) 7.2	7.2
製 造 業	8.8	1.8	0.0	△ 3.6	△ 18.9	(△17.0) 0.0	6.7
建 設 業	5.3	1.8	△ 1.7	11.3	3.2	(△1.6) 1.7	3.4
卸 売 業	0.0	△ 9.8	△ 4.7	7.5	0.0	(△2.5) 8.3	2.8
小 売 業	14.7	11.4	△ 2.6	7.7	7.7	(12.8) 17.1	4.9
運 輸 業	6.5	6.7	6.9	19.4	6.9	(0.0) 17.9	10.7
情報通信業	15.0	12.5	11.1	△ 10.5	△ 5.0	(△10.0) △ 5.6	0.0
サービス業	△ 5.0	△ 10.0	△ 17.1	2.6	10.8	(5.4) 2.8	△ 2.8
飲食店・宿泊業	25.0	4.2	△ 7.4	11.5	30.4	(21.7) 29.2	8.3

3. 借入難易

— 当期は「容易」超幅がほぼ横這い、来期も「容易」超幅がほぼ横這いの見通し —

- 当期の民間金融機関からの借入難易D.I.は、全産業で5.3と「容易」超幅がほぼ横這いとなった。
- 来期も、全産業で4.6と「容易」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表9 借入難易D.I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2024年		2025年				2026年	
		7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I (①—②)	7.0	7.7	2.8	4.8	4.9	(3.6)	5.3	4.6
	① 容易(%)	7.3	8.7	5.0	6.7	7.2	(6.5)	7.6	7.9
	不変(%)	92.4	90.3	92.8	91.4	90.5	(90.5)	90.1	88.8
	② 困難(%)	0.3	1.0	2.2	1.9	2.3	(2.9)	2.3	3.3
	製 造 業	10.5	10.9	1.7	1.8	5.7	(3.8)	3.3	0.0
	建 設 業	5.3	12.5	6.7	9.7	4.8	(6.5)	3.4	6.8
	卸 売 業	4.5	4.9	4.7	5.0	0.0	(0.0)	2.8	2.8
	小 売 業	8.8	0.0	0.0	7.7	5.1	(0.0)	9.8	7.3
	運 輸 業	0.0	0.0	0.0	△ 3.2	0.0	(0.0)	7.1	3.6
	情報通信業	5.0	0.0	0.0	△ 5.3	0.0	(△5.0)	0.0	0.0
	サービス業	10.0	7.5	7.3	13.2	5.4	(2.7)	2.8	5.6
	飲食店・宿泊業	10.7	20.8	△ 3.7	0.0	21.7	(21.7)	16.7	12.5

Ⅲ. 参考 販売数量、販売価格

参考1. 販売数量 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期は△2.9と「減少」超幅が大幅に縮小した。来期は5.1と「減少」超から「増加」超へ転じる見通しとなっている。

図表10 販売数量D.I. (前年同期比、「増加」－「減少」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種 区分	2024年		2025年				2026年	
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期		1～3月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	15.6	2.3	△ 12.0	△ 13.3	△ 13.6	(2.3)	△ 2.9	5.1
① 増加(%)	38.5	32.8	25.4	25.9	25.0	(28.0)	28.5	27.0
不変(%)	38.5	36.6	37.3	34.8	36.4	(46.2)	40.1	51.1
② 減少(%)	23.0	30.5	37.3	39.3	38.6	(25.8)	31.4	21.9

参考2. 販売価格 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期は48.9と「上昇」超幅がほぼ横這いとなった。来期は48.9と「上昇」超幅が横這いの見通しとなっている。

図表11 販売価格D.I. (前年同期比、「上昇」－「下降」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種 区分	2024年		2025年				2026年	
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期		1～3月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	48.9	46.6	50.0	59.3	50.0	(48.5)	48.9	48.9
① 上昇(%)	54.8	52.7	54.2	63.0	59.1	(53.8)	53.3	52.6
不変(%)	39.3	41.2	41.5	33.3	31.8	(40.9)	42.3	43.8
② 下降(%)	5.9	6.1	4.2	3.7	9.1	(5.3)	4.4	3.6

在庫水準、雇用判断

参考3. 在庫水準 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期末は△5.1と、前期末と比べて「過剰」超幅がほぼ横這いとなった。

図表12 在庫水準D.I. (当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種 区分	2024年		2025年			
	9月期末	12月期末	3月期末	6月期末	9月期末	12月期末
全産業D.I. (①-②)	△ 6.7	△ 3.8	△ 6.3	△ 9.6	△ 3.8	△ 5.1
① 不足(%)	4.4	5.3	3.5	1.5	5.3	3.6
適正(%)	84.4	85.5	86.6	87.4	85.6	87.6
② 過剰(%)	11.1	9.2	9.9	11.1	9.1	8.8

参考4. 雇用判断

- 当期の雇用判断D.I.は、全産業で57.2と「不足」超幅がやや拡大した。
- 来期は、全産業で55.9と「不足」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表13 雇用判断D.I. (当該期、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位:%ポイント)

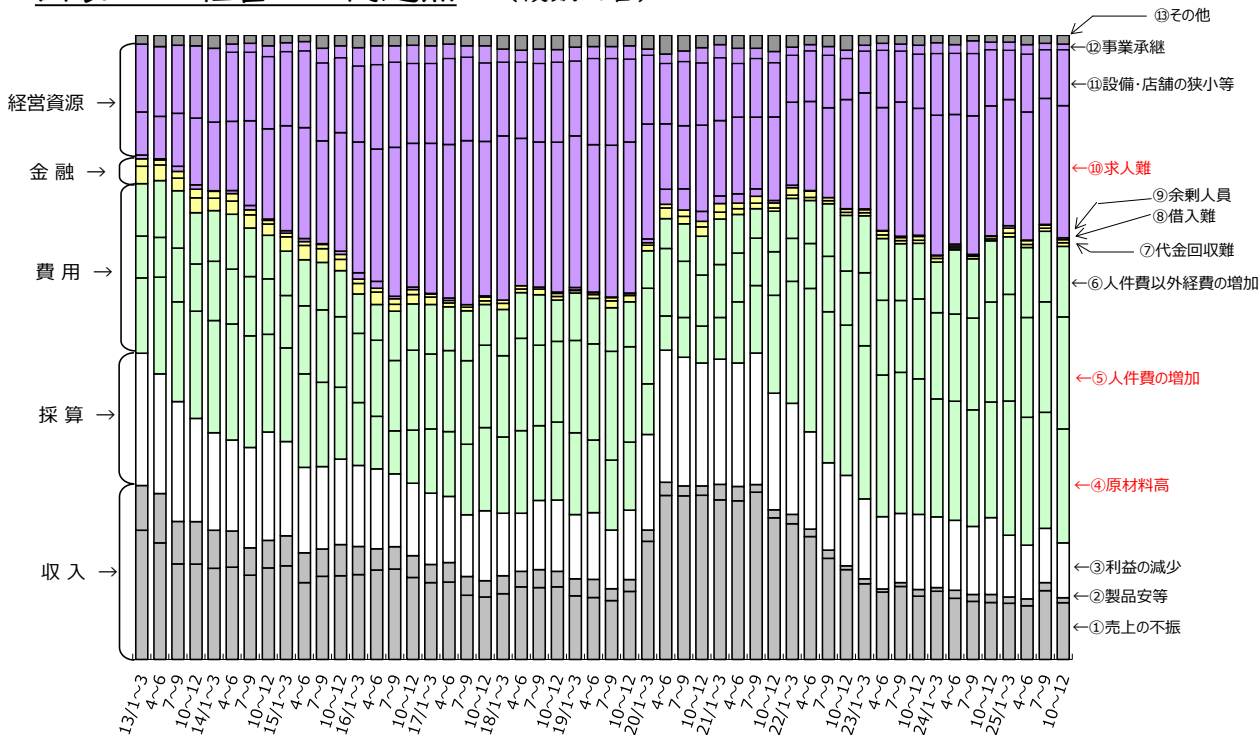
業種 区分	2024年		2025年				2026年
	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全産業 D.I (①-②)	57.3	54.0	56.4	56.1	53.3	(54.2)	57.2
① 不足(%)	58.9	55.3	57.7	57.0	54.9	(55.6)	58.6
適正(%)	39.5	43.3	41.1	42.0	43.5	(43.1)	40.1
② 過剰(%)	1.6	1.3	1.3	1.0	1.6	(1.3)	1.3

経営上の問題点

参考5. 経営上の問題点

- 経営上の問題点としては、「求人難」が最も高く、続いて「原材料高」、「人件費の増加」の順となった。
- 業種別では、製造業、運輸業、飲食店・宿泊業では「原材料高」の割合が、建設業、卸売業、小売業、サービス業では「求人難」が、情報通信業では「売上の不振」が最も高かった。

図表14 経営上の問題点（複数回答）



(単位:%)

区分		全産業
①	売上の不振	9.1
②	製品安等	0.8
③	利益の減少	8.8
④	原材料高	18.3
⑤	人件費の増加	18.0
⑥	人件費以外経費の増加	11.3
⑦	代金回収難	0.6
⑧	借入難	0.5
⑨	余剰人員	0.3
⑩	求人難	21.2
⑪	設備・店舗の狭小等	9.0
⑫	事業承継	0.9
⑬	その他	1.4